

世界の最先端を目指し
我々と患者さんがともに笑顔になれるように

整形外科学分野 教授 むらかみひでき 村上英樹



2019年2月1日付で名古屋市立大学大学院医学研究科 整形外科学分野の教授を拝命しました。私の専門は脊椎ですが、その中でも脊椎のがんを中心にやってきました。脊椎のがんはその90%以上が他臓器がんの転移です。これまで日本ではほとんど誰も手を付けたことのない領域ですので、前任地の金沢大学では日本全国から症例の相談や紹介を受け、海外からも患者さんが訪れ、また海外でも手術を行いました。私はこのように全国からの紹介が多いという理由で、金沢大学病院では3年前から地域医療連携室の室長を担当しておりました。ここ名古屋市立大学でもこの脊椎がん手術を続けて行ければと思っておりますが、整形外科学分野をまとめる教授として、整形外科の各専門グループが、世界の最先端を目指し研究し、その先端医療を患者さんに提供したいと考えています。

整形外科という分野は、運動器官を構成するすべての組織、すなわち骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの疾病・外傷を対象とし、その対象器官は脊椎（脊柱）、骨盤、上肢、下肢など広範囲に及びます。診療において我々は、脊椎外科、関節外科、小児整形、骨軟部腫瘍外科、手外科の各専門領域でチームを組んで、それぞれの専門外来と手術を行う体制をとっています。また、新たに運動器外傷チームも設立する予定です。

当院は大学病院であるため、基本的に高度先進医療の提供を目的としていますが、地域の医療ネットワークの一員として、大学病院の役割を果たしていけるように、患者さんのかかりつけ医である診療所や地域の病院、そして保健行政機関、医師会等と密な連携を図っていきたいと思います。

整形外科 特に力を入れている分野

脊椎外科

- ・脊椎のがん
- ・脊柱変形(側弯症など)
- ・骨粗鬆症性脊椎
- ・頸椎疾患(頸椎症性脊髄症、後縦靭帯骨化症、関節リウマチなど)
- ・腰椎疾患(脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、すべり症など)

小児整形

- ・乳児股関節脱臼や先天性内反足などの先天性疾患
- ・ペルテス病や大腿骨頭すべり症などの小児股関節疾患
- ・脳性麻痺などの神経筋疾患に伴う下肢障害

手外科

- ・人工神経による末梢神経再生
- ・上肢の先天異常
- ・関節リウマチによる手関節や手指の障害
- ・手根管症候群や肘部管症候群などの末梢神経障害
- ・デュピュイトラン拘縮に対する注射治療や手術治療

関節外科

- ・股関節(人工股関節手術、股関節周囲骨切り、コンピューター支援手術など)
- ・リウマチ関節外科(生物学的治療、手指関節形成術、足趾関節形成術、人工関節置換術：股関節・膝関節・肘関節)
- ・膝関節、スポーツ整形外科(人工膝関節手術：全置換術・部分置換術、膝周囲骨切り術：高位脛骨骨切り術など、関節鏡視下前十字靭帯(ACL)再建手術、関節鏡視下半月板手術：縫合術など)
- ・肩・肘関節、スポーツ整形外科(関節鏡視下腱板断裂手術、肩関節脱臼制動手術、野球肘手術：骨軟骨移植術・靭帯再建術・関節鏡視下手術、胸郭出口症候群手術)

骨軟部腫瘍外科

- ・高悪性度の軟部腫瘍に対する放射線温熱化学療法
- ・良性骨腫瘍に対する低侵襲の鏡視下手術

★ インターネット予約をはじめました! ★

このたび、当院の検査予約(医療機器共同利用)に従来のFAXによる申し込み方法に加え、インターネット予約(C@RNA Connect)を導入しました。

対象検査: CT(単純のみ)・MR(単純のみ)・胃カメラ・心エコー

※CT(造影)につきましては、今までどおりFAXにてお申し込みください。

ご利用にあたっては、地域医療連携センター(下記お問い合わせ先)までお電話でお申し込みください。
(既にC@RNA Connectをご利用の医療機関においては、手続きの必要なくすぐにご利用いただけます。)
現在は検査予約のみですが、診察予約のインターネット予約も準備を進めております。
ぜひ、ご利用ください。

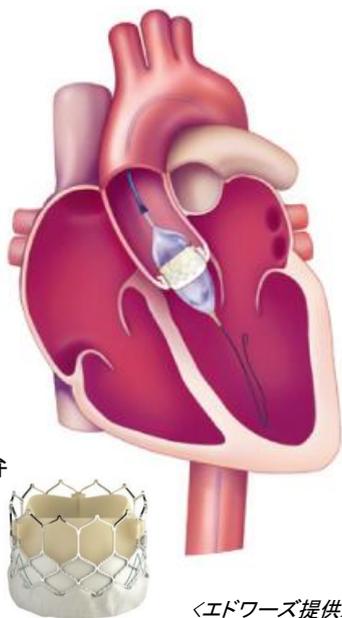
【お問合せ先】地域医療連携センター TEL:052-858-7150

重度大動脈弁狭窄症に対する新たな治療法

“TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)”が可能に!

(Transcatheter Aortic Valve Implantation)

大腿動脈アプローチ



左心室が収縮し全身に血液を送る際は、大動脈弁が開くことになるのですが、この大動脈弁が硬くなり開きにくくなってしまふ病気のことを大動脈弁狭窄症といいます。重症になると、胸痛や失神、息切れといった症状が現れ、突然死に至る場合もあり、適切なタイミングで治療が必要となります。

この大動脈弁狭窄症に対する治療は、今まで外科的大動脈弁置換術しかありませんでした。TAVIはカテーテルを用いて(大腿動脈もしくは左胸部から)大動脈弁を植え込んでくる新たな治療法となります。2013年から日本でも行われるようになった治療です。外科手術とは違い開胸せずに治療が行えることから低侵襲であり患者様への負担もかなり少なくなります。適応となる患者様は外科手術リスクの高い高齢者の方や手術困難な合併症をお持ちの方となります。手術ができずやむなく薬物治療を行っていた方に対して非常に有用な治療と期待されています。



循環器内科
助教 藤田浩志

地域医療連携フォーラム

～ 当院は顔の見える連携を大切にしています ～

11月16日(土)17:30～(予定)

名古屋観光ホテル
(名古屋市中区錦1丁目19-30)

日程が決まりましたのでご案内いたします。
ぜひご予約くださいますようお願いいたします。

患者さんのご紹介等に関する医師へのご相談・ご意見
をお受けします。お気軽にお問合せください。

地域医療連携センター
TEL 052-858-7131(直通)
renkei@med.nagoya-cu.ac.jp

桜山地域連携勉強会

“胸痛”といえど!
～ 狭心症? ～

名古屋市立大学病院 循環器内科
助教 藤田 浩志

日時: 2019年5月15日(水) 19:30～21:00
場所: 名古屋市立大学病院
病棟・中央診療棟4階 第一会議室

【お申込み・お問い合わせ】地域医療連携センター
(TEL 052-858-7150)